

発行所・責任者：(一社) 山口県安全運転管理者協議会 ☎083-973-1578

〒754-0002 山口県山口市小郡下郷 3560 番地 2 (山口県総合交通センター内)

【責任者】高山龍夫 【奇数月/10日発行】 <https://www.yamaguchi-ankan.or.jp/>



県内の交通事故

2月28日現在 ※()内は前年同期

発生

368件(317)

【増減】+51件

死者

5人(4)

【増減】+1人

傷者

450人(369)

【増減】+81人

4月の目標

春の全国交通安全運動(6日～15日)

新入学児童・園児との交通事故防止

こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践

歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進

高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進

実施事項

- ▶ 地域の交通安全運動への積極的な参加
- ▶ こどもが隠れる死角の周知
- ▶ 新入社員(若年ドライバー)への安全教育
- ▶ こどもを保護する運転の徹底
- ▶ 横断歩道での歩行者優先意識の徹底

5月の目標

春の行楽期の交通事故防止

自転車との交通事故防止

シートベルトの着用の徹底

エコドライブの実践



実施事項

- ▶ 無理のない運行計画による安全運転の確保
- ▶ 無事故・無違反コンテストへの積極的な参加
- ▶ 自転車利用者の行動特性の周知
- ▶ シートベルトの必要性の再認識
- ▶ エコドライブの具体的指導

こどもを交通事故から守ろう

1 こどもの突然の飛び出しに注意

こどもの事故原因として最も多いのが飛び出しです。運転中にこどもを見かけたら、突然の飛び出しに備えて減速しておきましょう。

2 こどもが隠れてしまう死角の周知

身体の小さいこどもは、思わぬ死角に隠れてしまいます。駐車車両や看板・電柱といったこどもの身体が隠れてしまいやすい死角を周知しましょう。

3 通学時間帯の通学路等の使用禁止の検討

通学路や生活道路は事故が起きやすい傾向にあります。どうしても必要な場合を除き、通学・下校時間帯に通学路を通行ルートとして使用しないようにすることも検討しましょう。

県下統一行動日

- 4月4日(金)、5月7日(水)
「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
- 4月8日(火)
「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」を呼びかける日
- 4月10日(木)
「交通事故死ゼロ」を目指す日
- 4月11日(金)
「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」を呼びかける日
- 4月15日(火)
「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日

- 5月7日(水)
「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
- 5月9日(金)
「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日

安管統一行動日

- 5月15日(木)
「シートベルト等の着用」を呼びかける日
- 5月19日(月)
「スピードダウン」を呼びかける日
- 5月23日(金)
「飲酒運転根絶」を呼びかける日

月間行事計画

- 4月11日(金)：表彰審査委員会
- 5月13日(火)：監査
- 5月23日(金)：決算理事会

エコドライブのチェックアドバイス ～減速時は早めにアクセルを離そう～

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

**エコドライブは、環境にも経営にもやさしい
何よりも、交通事故防止につながります**

交通安全スローガン

住みよい山口 いつも心に 交通安全

令和7年度月別活動重点

年間推進重点 5本柱

- こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路
交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシ
ートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- スピードダウンの推進
- 高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさ
せないための取組の推進
- 反射材・ハイビームの活用促進

月	活 動 重 点	実 施 事 項	備 考
4	・春の全国交通安全運動 (6日～15日) ・新入学児童・園児との交通事故防止 ・こどもを始めとする歩行者が安全に通 行できる道路交通環境の確保と正しい 横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底とながら運転 等の根絶やシートベルト・チャイルドシ ートの適切な使用の推進 ・高齢者を交通事故の被害者にも加害 者にもさせないための取組の推進	・地域の交通安全運動への積極的な参 加 ・こどもを保護する運転の徹底 ・こどもが隠れる死角の周知 ・横断歩道での歩行者優先意識の徹底 ・新入社員(若年ドライバー)への安全教 育	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 4日(金) ●「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」を呼びかける日 8日(火) ●「交通事故死ゼロ」を目指す日 10日(木) ●「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」を呼びかける日 11日(金) ●「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日 15日(火)
5	・春の行楽期の交通事故防止 ・自転車との交通事故防止 ・シートベルトの着用確認の徹底 ・エコドライブの実践	・無理のない運行計画による安全運転 の確保 ・無事故・無違反コンテストへの積極的な 参加 ・自転車利用者の行動特性の周知 ・シートベルトの必要性の再認識 ・エコドライブの具体的指導	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 7日(火) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(金) ◆「シートベルト等の着用」を呼びかける日 15日(木) ◆「エコドライブ」を呼びかける日「スピードダウン」を呼びかける日 19日(月) ◆「エコドライブ」を呼びかける日「飲酒運転の根絶」を呼びかける日 23日(金)
6	・大雨等の異常気象への安全対策 ・交差点通行時の事故防止 ・災害時の安全運転管理	・雨天時の安全運転の指導 ・交差点での多発事故パターンと事故多 発交差点の周知 ・気象情報のチェックと運行可否の判断	◆業務用車両一斉点検 2日(月) ●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 5日(木) ◆「エコドライブ」を呼びかける日 6日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(火)
7	・夏の交通安全県民運動 (11日～20日) ・こどもを始めとする歩行者が安全に通 行できる道路交通環境の確保と正しい 横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底とながら運転 等の根絶やシートベルト・チャイルドシ ートの適切な使用の推進 ・高齢者を交通事故の被害者にも加害 者にもさせないための取組の推進	・夜間・カーブ等の安全な走行と危険予測 の指導 ・夏休みの子どもの交通事故防止 ・横断歩道での歩行者優先意識の徹底 ・前照灯のこまめな切り替え指導	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(火) ●「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」を呼びかける日 11日(金) ●「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」を呼びかける日 14日(月) ●「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日 18日(金)
8	・二輪車の安全な乗り方の指導 ・運転者の健康管理の推進	・コースアウト4(し)ない運動の実践 ・生活習慣病対策のための生活習慣の 見直しとアドバイス ・過労運転を防止する運行管理	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 5日(火) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 8日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(月)
9	・秋の全国交通安全運動 (21日～30日) ・こどもと高齢者の交通事故防止 ・思いやり運転による歩行者優先の徹底	・地域の交通安全運動への積極的な参 加 ・こどもと高齢者に対する「思いやり運転」 の実践 ・高齢者との多発事故パターンの周知 ・高齢歩行者の特性の周知	◆街頭立哨「事務所付近」 1日(月) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(火) ◆「エコドライブ」を呼びかける日 12日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(木) ●「交通事故死ゼロ」を目指す日 30日(火)
10	・薄暮・夜間走行時の安全運転の推進	・早め点灯とハイビームを基本とした運転 の実践 ・早朝・薄暮時の歩行者への事故防止指 導 ・速度を落としての危険予測の徹底 ・日没時刻とライト点灯時間の周知	◆街頭立哨「事務所付近」 1日(火) ●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 6日(月) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(木) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 17日(金)
11	・高齢者の交通事故防止県民運動 (9日～15日) ・高齢者を交通事故の被害者にも加害者 にもさせないための取組の推進 ・高速道路走行の基本の指導 ・車両の点検・整備の徹底	・高齢者を保護する運転の指導 ・高齢者等を守る気運の醸成 ・高速道路での事故・故障等への対応 方法の周知 ・計画的な点検・整備の推進	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 10日(月) ●「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日 14日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(火) ◆「確実な安全確認」を呼びかける日 28日(金)
12	・年末年始の交通安全県民運動 (12月10日～1月3日) ・飲酒運転ゼロの推進	・年末年始の交通安全県民運動への積 極的な参加 ・酒気残存運転対策の推進 ・酒席時の飲酒運転防止対策の徹底 ・飲酒運転はしない・させない・許さない	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 5日(金) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(火) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(木) ◆「飲酒運転の根絶」を呼びかける日 19日(金)
1	・年始の交通事故防止 ・事業所の安全管理年間計画・目標の 設定 ・冬道運転の危険の周知	・事業所の事故防止に関する課題の把握 と対策 ・冬道での事故事例の周知 ・降雪・凍結時の安全運転の指導 ・コースアウト4(し)ない運動の実践	◆スリップ防止措置の点検 5日(月) ●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 19日(月)
2	・健康起因による事故防止の推進 ・安管未選任事業所の一掃	・出発前の疲労チェックの徹底 ・健康診断結果を活用した健康指導 ・未選任事業所に対する届出の勧奨	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日 5日(木) ◆業務用車両一斉点検 9日(月)
3	・高齢者の交通事故防止県民運動 (9日～15日) ・高齢者を交通事故の被害者にも加害者 にもさせないための取組の推進 ・交通安全意識を高める制度・活動の推 進	・こども・高齢者に対する「思いやり運転」 の実践 ・こども・高齢歩行者を守る気運の醸成 ・無事故・無違反者を表彰する制度の設 立 ・参加・体験型の教育の推進	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日 9日(月) ●「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日 13日(金) ◆「スピードダウン」を呼びかける日 18日(木)

【山口県の交通安全の日】

- ・県民交通安全の日【毎月1日、但し4月と1月は8日に実施】
- ・「横断歩道ハンドサイン運動推進」の日【毎月5日】
- ・反射材・ハイビーム活用促進の日【毎月9日】
- ・高齢者の交通安全日【毎月15日】
- ・交通事故死ゼロを目指す日【4月10日(木)・9月30日(火)】

※ ●は県下統一行動日
※ ◆は安管統一行動日

安管選任事業所従業員による交通事故の発生状況

～ 令和6年中の交通事故死者数5人（前年比+0人）～

令和6年中の山口県内の交通事故死者数については、令和5年の35人を大幅に上回った51人でした。

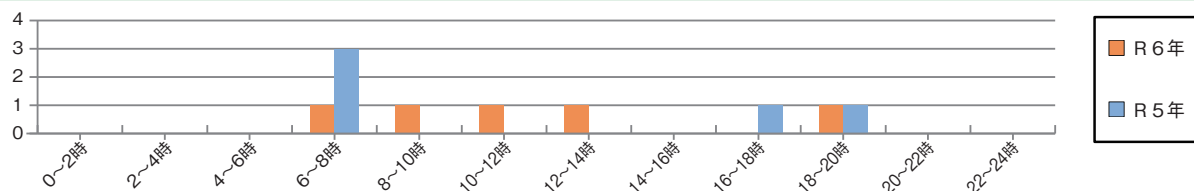
安管選任事業所従業員が関与した交通事故死者数は、5人で前年比±0でした。時間帯別の発生では、6～8時、8～10時、10～12時、12～14時、18～20時にそれぞれ1人となっています。運転者の年代別では、20歳代

1人、40歳代2人、50歳代以上2人となっており、通行目的では、出勤時が2人（前年比－1人）、私用中が1人（前年比－1人）と減少しましたが、業務中が2人（前年比＋2人）であり、業務中の交通死亡事故が増加しました。事故の要因としては、歩行者妨害、安全不確認、ハンドル操作不適により発生しています。

1 発生状況（令和6年中）

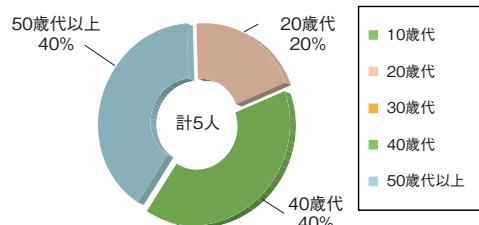
区 分	山 口 県 内		安管選任事業所		死者数の比率
	人身事故件数	死者数	人身事故件数	死者数	
R6年	2,152	51	206	5	9.8%
R5年	2,269	35	315	5	14.2%
増 減	-117	+16	-109	±0	

2 時間帯別



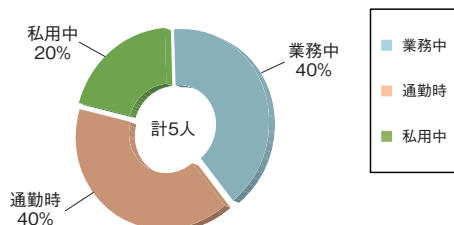
区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	計
R6年				1	1	1	1			1			5
R5年				3					1	1			5

3 運転者の年代別



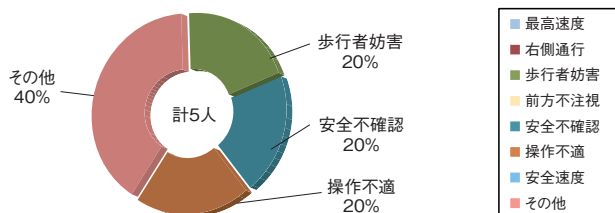
区分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	計
R6年		1		2	2	5
R5年			1	3	1	5

4 通行目的



区分	業務中	通勤時	私用中	計
R6年	2	2	1	5
R5年		3	2	5

5 違反別



区分	最高速度	右側通行	歩行者妨害	全運転義務違反				その他	計
				前方不注意	安全不確認	操作不適	安全速度		
R6年			1		1	1		2	5
R5年			1	1				3	5

業務中と出勤時の死亡事故がそれぞれ2件発生しています。

対策として、事業所内の無事故・無違反のベテラドライバーが講師として、安全運転のポイントを指南するのほひとつの方法です。身近なベテラドライバーが自身の経験をもとに安全運転のポイントや危険への対処方法を紹介すれば、受講者は質問や意見交換などを気軽に行えるので事業所全体の安全運転意識の向上に役立つでしょう。

交通事故防止DVDの貸し出し

県安管では、各（地区）協議会会員の交通事故防止に資するため、会員に対するDVDの貸し出しを行っています。貸し出せるDVD枚数はそんなに多くありませんが、各事業所での交通事故防止活動に活用していただきたいと思っています。貸し出しのDVDは一覧表のとおりです。

貸し出しDVD一覧表

（一社）山口県安全運転管理者協議会

区分	山 口 県 内	安管選任事業所	時間
1	誰でもできるエコ運転術	CO2排出軽減による地球温暖化対策、エコ運転による交通事故防止等	20分
2	もっと減らせる交通事故	プロの運転者の交通事故防止に対する配慮事項について解説	23分
3	運転者の心得と義務	ドライバーが常識として知っておかなければならない義務と責任、安全運転の知識を解説	25分
4	ここが大切 安全運転	安全運転は「こころ」、どんなに運転が「たくみ」でも事故は防げない、「こころ」のあり方を解説	25分
5	どう防ぐ、高速道路事故	高速道路で事故を起こすと、死亡事故につながる大惨事となります。交通事故防止のカギは、危険予測と安全確認です。	23分
6	心に刻め命にスベアはないことを	運転の基本である「見る」「判断」「アクセル操作・ハンドル操作・ブレーキ操作」をいかに的確に行うか、事例を踏まえ解説	22分
7	災害時、ドライバーはどう生き残るか	いつ起きてもおかしくない巨大地震、津波、火災そのときドライバーはどう危険を回避し生き残るか、そのための知恵と行動を説明	28分
8	危険を予測・回避するポイント命はひとつ	交通事故で重度の後遺障害を負った方、その家族の姿を通して、事故の恐ろしさと命の大切さを訴える	25分
9	注意一秒 怪我一生	事故経験者からの、事故はどうして起きたのか、どうすれば防ぐことができたのかを検証し、事故防止に役立つポイントを学ぶ	26分
10	あなたの運転 再チェック	普段から安全運転に心がけているというドライバーの運転を、運転指導のプロが分析し、「しているつもり」の安全運転を解説	25分
11	セルフコントロールで事故防止	性格別に起こしやすい事故事例とアドバイスを中心に展開、自分の癖や欠点を補い、事故を未然に防ぐことができるか、タイプ別に解説	21分
12	従業員の交通事故と企業リスク	社有車を運転するにあたってしておかなければならない従業員の交通事故と企業リスクについて解説。	22分
13	奪われた夢 危険への想像力で事故を防ぐ	事故を他人事として考えず、いつどんな状況においても「危険への想像力」をもって運転することにより、交通事故を防ぐ	24分
14	事故を起こさないための運転行動	運転中、交通事故を防ぐため「もしかしたら」と考え、交通状況に応じた危険を予測していれば突発的な状況に対応できる	20分
15	潜む危険を予測・回避せよ ある会社員の交通事故	「誰だってよけられずに事故を起こしますよ」でも、本当に交通事故は避けられなかったのか	22分
16	交通事故ゼロへの決意 あなたと会社を守る	事業所にとって従業員の交通事故は事業所経営を揺るがす高いリスクです。本人だけでなく、事業所、使用者にも影響が・・・	24分
17	業務運転中の事故を防げ 交通事故を起こす4つのケース	業務運転中に起きた事故は、当事者である従業員だけでなく、会社も責任を負うことになり、会社経営に大きな打撃を与え、企業の存立を脅かかねません。	22分
18	償いの十字架	自らが一度は交通事故の被害者側に立ながら、今度は自分自身が交通死亡事故を起こし、その事故の波紋は大きく、双方の家庭は崩壊してゆく。	27分
19	「自分ルール」を見直す ～初心に返って安全運転～	運転に慣れてくると、慎重だったはずの安全確認がルールになったり、守るべき交通ルールを軽く考えるなど、いつの間にか自分に都合のいい「自分ルール」を作ってしまう。	20分
20	一瞬の過ち失われた未来	この作品は、ある女子大生が自転車で事故を起こしたことにより、順風満帆だった人生が一変した様子を描き、事故の悲惨さと自転車も乗り方を間違えれば凶器となり得ることを強く訴えている。	21分
21	パパは風になった	1人のドライバーの不注意によって引き起こされた死亡事故、突然一家の大黒柱を失い、絶望の淵からもがき苦しみながら、必死に立ち上がろうとする親子。そして加害者に背負われる重い十字架。	30分
22	夢を奪ったハンドル	交通死亡事故を起こし、実刑判決を受け刑務所に収容された受刑者の反省の声をタテ軸に、残された被害者の家族の悲しみの生活を捉えながら、私たちは加害者にも被害者になってはいけないことを訴えている。	26分
23	ベテランドライバーこそ要注意!	ベテランドライバーは、「自分は運転が上手い」という過信から、独自の安全基準で判断していることはないだろうか。忘れがちな安全運転のポイントをもう一度再確認するための教材。	18分
24	こうして潰せ!ヒューマンエラー	「急ぎ」「思い込み」「油断」「疲労」……これらドライバー自身の「心の死角」がヒューマンエラーを招きます。自分は大丈夫だと思っていないですか。	20分
25	対話形式でわかる! 交通事故における企業ドライバーの責任	交通事故は、被害者・ドライバーだけではなく企業にも大きな損失を与えます。安全運転と管理の徹底を心がけ、会社と従業員、その家族を守りましょう。	23分
26	そのとき試されるあなたの危険予知 ～無事故の秘訣4か条～	危険予知訓練（KYT）をベースに、日々の運転に役立つドラレコ映像11例を通して危険予知センスを磨くための4つの秘訣をわかりやすく解説しています。	22分
27	ゼロ!飲酒運転 正しい知識で計画飲酒	飲酒運転による死亡事故は過去20年で大幅に減少しましたが、この10年は減少幅が縮小、現在は下げ止まり状態のまま推移しています。飲酒運転ゼロに向けて、もう一歩踏み出すには、何が必要なのかを再確認できる教材です。	24分

各(地区)安管協議会の活動状況

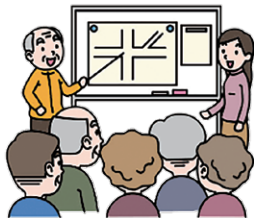
～令和6年「年末年始の交通安全県民運動」実施結果～

各(地区)安管協議会の「年末年始の交通安全県民運動」期間中における活動の一部を紹介します。



岩国・岩国北地区・岩国西地区安管

岩国・岩国北地区・岩国西地区安管では、協議会の事業の一環として、工事中の高規格道路のトンネル工事見学会を行いました。工事関係者から、工事の状況や騒音・排水対策等の説明を受け、参加者からは「トンネル工事の技術は素晴らしい。よい勉強になった。」との声が聞かれました。



下松安管

下松安管では、年末年始の交通安全県民運動期間中、地域のイベント会場において、交通安全啓発グッズ・チラシを配布し、年末年始の交通事故防止を呼びかけるとともに高齢者を対象に高齢者交通安全教室を開催しました。



防府安管

防府安管では、運動期間中、警察と協同して地域の高齢者宅を戸別訪問して交通事故防止を呼びかけました。また、市内の商業施設で開催された交通安全キャンペーンに参加し、買い物客に反射材を配布して「反射材・ハイビームの活用」を呼びかけました。



山口・阿東地区安管

山口・阿東地区安管では、年末年始の交通安全県民運動期間中、警察・安全協会と協同で市内の商業施設3か所において交通安全キャンペーンを行いました。関係者がサンタクロースに扮し、買い物客に交通安全啓発グッズを配布して、年末年始の交通事故防止を呼びかけました。

各(地区)安管協議会の活動状況



山口南安管

山口南安管では、運動期間中、警察と市内の商業施設において、交通安全キャンペーンを行い、買い物客に交通安全啓発チラシや反射材を配布し、年末年始の交通事故防止を呼びかけました。また、地域で開催された高齢者サロンにおいて、反射材の必要性や交通事故防止を呼びかけました。



山口・阿東地区・山口南安管

山口・阿東地区・山口南安管では、年末年始の交通安全県民運動の一環として開催された「交通安全ラッピングトラック」の出発式に合同で参加しました。県トラック協会が募集したイラストの応募者に記念品が贈呈された後、荷台部分にイラストがペイントされたトラックが市内に向けて出発しました。



宇部安管

宇部安管では、運動期間中、警察等と連携して年末年始の交通安全県民運動出発式を行うとともに、安管事業所の若手ドライバーが市内の商業施設において、交通安全キャンペーンを行いました。また、関係機関と協同で「飲酒運転で失うものは計り知れません」と書かれた横断幕を掲げ、夜の繁華街においてパレードを行い、飲酒運転撲滅を呼びかけました。



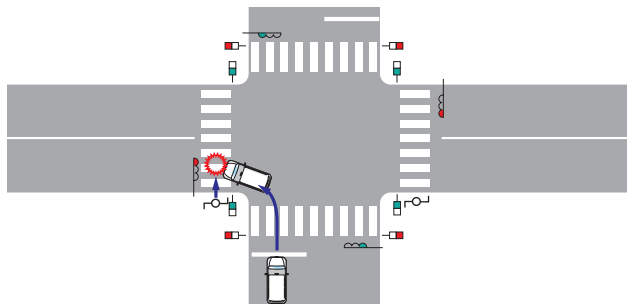
長府・豊田地区安管

長府・豊田地区安管では、市内で発令された交通死亡事故多発警報により、下関署・長府署・小串署の3署が合同で開催した交通安全キャンペーンに参加しました。長府安管事業所の従業員も参加し、市内の商業施設において買い物客に対して交通事故防止を呼びかけました。報道機関からの取材もあり、テレビニュースや新聞で報道されるなど大きな反響がありました。

横断歩道における交通事故防止と子供の行動特性

事故の概要

某日午後2時ころ、某市の国道において、女性が運転する軽四乗用車と、横断歩道を横断中の小学生が衝突し、小学生が負傷する交通事故が発生しました。



道路状況等

- 駐車禁止
- 交差点（信号機、横断歩道あり）

問題点

軽四乗用車の運転者は、交差点を左折する際、横断歩道上の安全確認を怠り漫然と進行したため、横断中の小学生に気付くのが遅れ、衝突したものです。

安全運転管理のアドバイス

これから入園入学の時期を迎え、不慣れな道を通学する子供も増加しますので、安全運転管理者として、子供の交通行動上の特性をしっかりと理解した上で、今一度、事業所の運転者に対し、「横断歩道等における歩行者優先ルール」の徹底をお願いします。

1 横断歩道や交差点通行時のポイント

(1) 横断歩道等は歩行者優先

- 横断歩道等の手前での減速

横断歩道等に歩行者等がないことが明らかでない時は、その手前で停止できるように横断歩道等の手前で減速しなければなりません。

- 横断歩行者等がある場合の一時停止

横断歩道等に歩行者等がある場合には、横断歩道等の手前で必ず一時停止し、歩行者等の横断を待ちましょう。

(2) 「横断歩道ハンドサイン運動」について

山口県警察では、横断歩道ハンドサイン運動を推進しています。

これは、横断歩道において、歩行者による「渡ります」のハンドサインと運転者による「お先にどうぞ」のハンドサインを普及させ、横断歩道における歩行者の安全確保及び運転者による歩行者優先意識の高揚を図り、横断歩道上における交通事故を抑止するものです。

皆さんも、「横断歩道ハンドサイン運動」に参加しましょう。

(3) 交差点周辺への目配り

道路を利用する歩行者や自転車の中には、信号無視をしたり、横断歩道以外の場所を無理に横断したりする人もいます。

交差点を通行する際は、事前に交差点周辺にも目配り

し、急いで渡る歩行者がいないか、自転車が急に渡ってこないかなど、その兆候を事前にしっかりと把握しましょう。

2 子供の特性

(1) 交差点での右折車・左折車に対する警戒心が乏しい

信号機のある交差点では、右左折車も横断歩道を横切ることになりますが、小さな子供には、そのような自動車の通行ルールが理解できていない場合も少なくありません。突然近づいた自動車に驚愕し、転倒したり、駆け出したりすることも考えられるので、安全確認をしっかりと行い、横断歩道に性急に近づくことがないようにしましょう。

(2) 友達や同伴者がいると警戒心が乏しくなる

普段は慎重な行動をとる子供であっても、道路の向こう側に友達がいったり、家族などの同伴者がいたりする場合は、「道路を渡りたい」という気持ちが優先し、通行車両等の動静に注意が向かなくなりがちです。友達や家族が一緒の場合でも、「突然横断するかもしれない」「こちらに気づいていないかもしれない」と警戒し、突然の行動に備えた防衛運転を心掛けましょう。

(3) 状況判断能力が未発達

通常大人は、近づいてくる車両の速度や距離、自分との位置関係を考慮し、危険な状況であるかどうかを判断しますが、子供はこれら判断能力が未発達であることから、危険な状況であっても、飛び出しや危険行動をする可能性があります。

また、外見上、左右を見ていても、ただ興味のある物に注意をひきつけられていたり、見たい物を見ていたりするだけかもしれず、安全確認を行っているとは限りません。

3 終わりに

各事業所によっては、異動期を迎えるところもあり、慌ただしい時期ではありますが、事例のような小学生が被害となる悲惨な交通事故が起きないよう、「横断歩道は歩行者優先」のルールが事業所に浸透するよう、安全運転管理を徹底していただきますようお願いいたします。

山口県の交通事故発生状況

1 1月末の交通事故発生状況

区 分	人身事故 発生件数	死者数	負傷者数	物損事故 発生件数
令和7年1月末	197	2	245	2,968
令和6年1月末	168	2	196	3,078
前 年 比	29	0	49	-110

2 横断歩道横断中の死者及び負傷者

区 分	死者数	負傷者数
令和7年1月末	0	6
令和6年1月末	0	15
前 年 比	0	-9

3 安管事業所従業員が主原因となった交通事故の発生状況（私用中の事故を含む）

区 分	人身事故 発生件数	死者数	負傷者数
令和7年1月末	23	0	25
令和6年1月末	19	1	22
前 年 比	4	-1	3
構 成 率	11.7%	0.0%	10.2%

※構成率は、全人身事故発生件数に占める安管事業所従業員が主原因を作った交通事故件数

- 夕暮れに 歩行者を照らす 照time
- 見えないを 見えるに変える 反射材
- てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ

山口県交通安全協会・山口県安全運転管理者協議会

5月の目標

- 春の行楽期の交通事故防止
- 自転車との交通事故防止
- シートベルトの着用確認の徹底
- エコドライブの実践
- 県下統一行動日
- 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日……………7日(水)
- 「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日……………9日(金)
- 安管統一行動日
- 「シートベルト等の着用」を呼びかける日……………15日(木)
- 「スピードダウン」を呼びかける日……………19日(月)
- 「飲酒運転の根絶」を呼びかける日……………23日(金)

山口県交通安全協会

4月の目標

- 春の全国交通安全運動(6日～15日)
- 新入学児童・園児との交通事故防止
- こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進
- 県下統一行動日
- 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日……………4日(金)
- 「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」を呼びかける日……………8日(火)
- 「交通事故死ゼロ」を目指す日……………10日(木)
- 「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」を呼びかける日……………11日(金)
- 「高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進」を呼びかける日……………15日(火)

山口県安全運転管理者協議会